

家庭学習の取組を充実させましょう！〈B小学校の取組〉

ポイント

- 取り組む内容について、全教職員で共通理解を図り、全学年・全学級で取り組みます。
- 期間を決めて取組の成果を確認します。

1 現状の分析から家庭学習についての目標と取組を見直しました。

これまでの目標と取組

- 目標
 - ・「(学年×10) 分」以上家庭学習に取り組む児童の割合を8割以上とする。
- 取組
 - ・家庭と連携し、家庭学習の質の向上や学習慣化を図る指導の充実に努める。

現状の分析

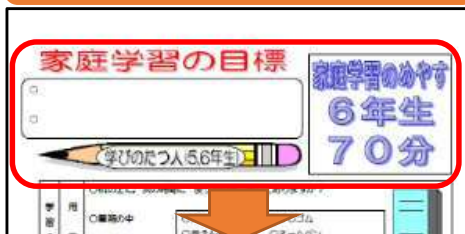
- 全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査「学校の授業以外に、普段（月～金）、1日当たりどのくらいの時間勉強しますか」の質問に対し、「1時間より少ない」と回答した児童の割合が5割以上の状況が過去5年間続いている。
- 4年前に作成した家庭学習の手引が形骸化しており、学年・学級によって指導の差が見られる。

改善後の目標と取組

- 目標
 - ・「(学年×10+10) 分」以上家庭学習に取り組む児童の割合を8割以上とする。
- 取組
 - ・全学年・全学級で共通した家庭学習の取組を行い、1か月ごとに目標の達成状況を確認する。
 - ・教職員と保護者が、児童の家庭学習の取組状況を共有できる手立てを工夫する。

2 家庭学習の手引を改善し、児童が家庭学習の時間や内容を記録できるカードを作成しました。

家庭学習の手引の改善



- 学校で定めた目標に従って、目安の時間を示し、児童が自分で家庭学習の目標を記載する欄を設けることで、主体的に取り組めるようにしました。

児童が記録するカードの作成

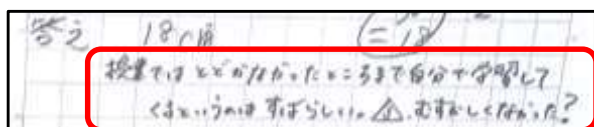
自主学習カレンダー (12) 月			
日にち	曜日	予定・時間	左(基礎・基本)
5	月	16時～18時	漢字復習
6	火	16時～18時	漢字復習
合計時間		予定 360分	実際 315分

- 毎日の家庭学習の内容と時間等を記録させ、日々の積み重ねが実感できるようにしています。低学年は、学習時間と内容を保護者と一緒に記載するようにしました。

- 1週間ごとに取組を振り返ることができるよう、家庭学習の時間の合計（予定と実際）を記載させました。

- 家庭学習の手引と児童が記録するカードを学校と家庭をつなぐ架け橋として活用し、家庭と連携した取組を進めました。

3 家庭学習ノートの提出状況を記録するとともに、提出されたノートに評価のコメントを記載しました。



- 提出されたノートには、教師による評価のコメントを必ず記載し、児童の意欲を高めました。

- 提出されたノートの点検や評価のコメントの記載は、加配教員や学級担任以外の教員も協力して行うなど、組織的に取り組みました。

4 1週間ごとに目標の達成状況を確認し、教職員はもとより保護者と共有しました。

記録を生かした支援の検討

5年生 6月第1週の記録

児童氏名	6日	7日	8日	9日	10日	時間の合計 (土日含む)
A	○	○	○		○	420分
B	○		○		○	30分
C	○		○	○	○	490分
D	○	○	○	○	○	420分
E	○	○	○	○	○	390分

○ 各学級の記録を持ち寄り、学年団で次週に向けた支援の方策を検討しました。

・B児は、家庭学習でどのような内容に取り組めばよいのか分からず、意欲が高まらない状況が見られたので、毎日の声かけを行うとともに、基礎的な内容を中心とした個別の学習プリントを準備することとしました。

学級通信等を活用した保護者との取組状況の共有

6月第1週の家庭学習ノートについて

6月第1週の家庭学習ノートの提出率は90%でした。家庭学習の重点月間がはじまり、学習への意識の高まりが感じられます。来週は、95%を目指すことを子どもたちと確認しました。

時間については、毎日60分以上取り組めた子は5割程度でした。次週は、6割程度には上がってほしいと願っています。ご家庭でも、声かけや励ましをお願いします。

○ 家庭との連携により、取組を充実させるために、学級通信に今週の結果と次週の取組について記載することを全教職員で徹底しました。

5 1か月の成果を確認しました。

全教職員による成果の共有

○ 教務部が1か月の取組を取りまとめ、朝の打合せで成果を共有し、次の月の取組の視点を明確にしました。

	4年生	5年生	6年生
提出率	95%	95%	98%
時間(達成できた人数の割合)	53%	51%	60%

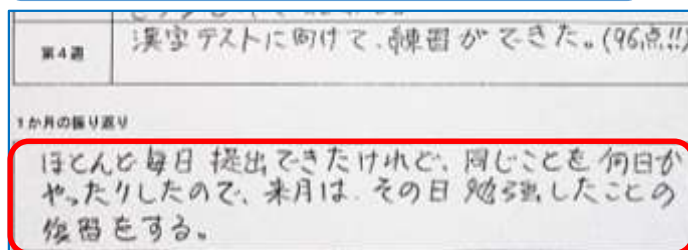
6月の結果です。提出率は全ての学年で9割以上であり、先生方で協力して取り組んだ成果が現れています。一方、時間については、先月から引き続き、5割前後となっています。7月は、目安の時間を達成することを目標に取組を進めましょう。また、取組がマンネリ化しないよう、全国調査のB問題を参考に考えさせる問題を家庭学習とし...

子どもの取組の価値付け



○ 子ども一人一人の取組のよさや頑張りを十分に認め、次の月の取組への意欲付けを行いました。

家庭学習カードへの振り返りの記入



○ 家庭学習カードに振り返りを記入させ、この1か月でできたことと、次の月に頑張ることを明確にさせました。